

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和3年11月11日(木) 定例会	活動場所	中尾根カタクリ群生地	
活動内容	下草刈り・倒木処理(第2回目)			
参加者	武井 収	村田 鉄三	奈良 忠男	長嶋 幸雄
	平野 昭夫	増田 弘文	下田 克明	大出 忠
	斎藤 秀夫	佐野 久雄	藤沼 力	古別府 和樹
	箕輪 幹夫	戸崎 博之	原田 昌廣	野尻 喜一
	池田 正夫			

前回に引き続き同箇所の下草刈り及び倒木処理を行った。現地は令和元年度に木製階段(113段)を設置した箇所である。このカタクリ群生地は広範囲に及ぶため第2回目の作業となった。篠竹が谷間に繁茂し、カタクリ群生地の見通しが悪く、生育を阻害していた。篠竹を刈り取ることで見通しが良くなり、木製階段の登山道からの景観は見違えるように回復した。来春の開花期が楽しみである。



枯木のまま立っている樹木の撤去は厄介である。木製階段付近の枯木は鋸を使って慎重に切り倒した。刈り取った篠竹等は数か所にまとめて自然に朽ちるのを待つことにした。付近には5月中旬、ジャケツイバラ(蛇結茨)も開花するので是非訪れてほしい。

